

渡島・檜山支庁の気象

平成 21 年（2009 年）のまとめ

函館海洋気象台

平成 22 年 2 月 1 日

◎ 年（1月～12月）『並温・多雨・多照』

気温：函館市川汲・北斗・函館市美原・江差で平年より高いほかは、平年並だった。

降水量：上ノ国町石崎で平年並のほかは、平年より多かった。

日照時間：函館市川汲・函館市美原で平年より少なく、せたな町瀬棚・厚沢部町鶉・江差で平年並、長万部・八雲町八雲・木古内・松前では平年より多かった。

* 今金は機器更新のため統計値不足

◎ 冬（平成 20 年 12 月～2月）『高温・多雨（小雪）・並照』

期間の初めに冬型の気圧配置が強まり天気が大荒れで雪の日もあったが、あまり強い寒気が入らず、低気圧や気圧の谷が通過し天気が荒れても気温が高く、雨になる日が多かった。

気温はすべての観測点で平年より高く、函館市川汲・函館市美原・松前・せたな町瀬棚・八雲町熊石・江差では平年よりかなり高かった。降水量は八雲町八雲・木古内・松前・上ノ国町石崎で平年より多いほかは、平年よりかなり多かった。

◎ 春（3月～5月）『高温・並雨・多照』

この期間の天気は周期的に変わり、低気圧や気圧の谷が通過して雨や雪が降った日もあったが、高気圧に覆われ晴れる日が多かった。

気温は厚沢部町鶉で平年並のほかは、平年より高かった。日照時間は函館市川汲・函館市美原・江差で平年より多いほかは、平年よりかなり多かった。

◎ 夏（6月～8月）『並温・多雨・寡照』

この期間、太平洋高気圧の張り出せない時期が続き、南から湿った大気が入ることが多く、雨や曇の日が多かった。特に7月は前線を伴った低気圧が周期的に通過した影響で雨の日が多かった。

降水量はすべての観測点で平年より多く、長万部・八雲町八雲・北斗・函館市美原・木古内・松前・福島町千軒・八雲町熊石・江差・乙部町潮見では平年よりかなり多かった。函館市美原で7月における月降水量の多い方からの順位が2位だったほかは、すべての観測点で極値を更新した。日照時間は八雲町八雲で平年並のほかは、平年より少なく、函館市川汲・函館市美原・松前・せたな町瀬棚・今金・厚沢部町鶉・江差では平年よりかなり少なかった。

◎ 秋（9月～11月）『並温・少雨・多照』

この期間、移動性高気圧に覆われることが多く、晴れた日が多かった。10月は台風第18号や上空に寒気が入り大気の状態が不安定となった影響で、雷を伴う大雨の日もあり、11月は大陸からの寒気の影響で雪となった日もあったが、降水量は少なめに経過した。

降水量は八雲町八雲・松前・七飯町大沼・今金・乙部町潮見で平年並のほかは、平年より少なかった。日照時間は長万部・函館市川汲・北斗・厚沢部町鶉で平年並のほかは、平年より多く、木古内・松前・八雲町熊石では平年よりかなり多かった。

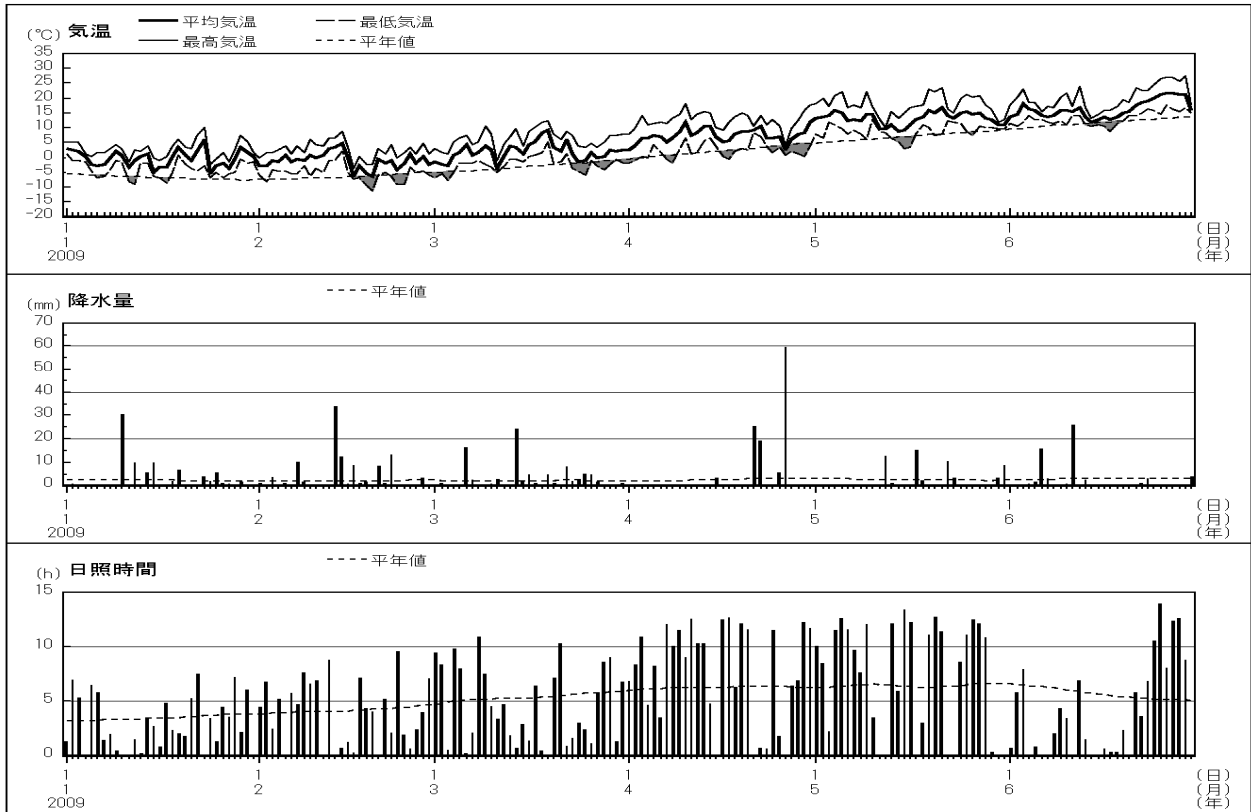
◎ 初冬（12月）『並温・渡島多雨（多雪） 檜山並雨（多雪）・多照』

この期間の天気は周期的に変わり、晴れた日もあったが、中旬の中頃から下旬の前半にかけて強い寒気が入り雪の日が多く、下旬の後半は発達した低気圧が次々と通過したため大荒れの天気の日もあった。

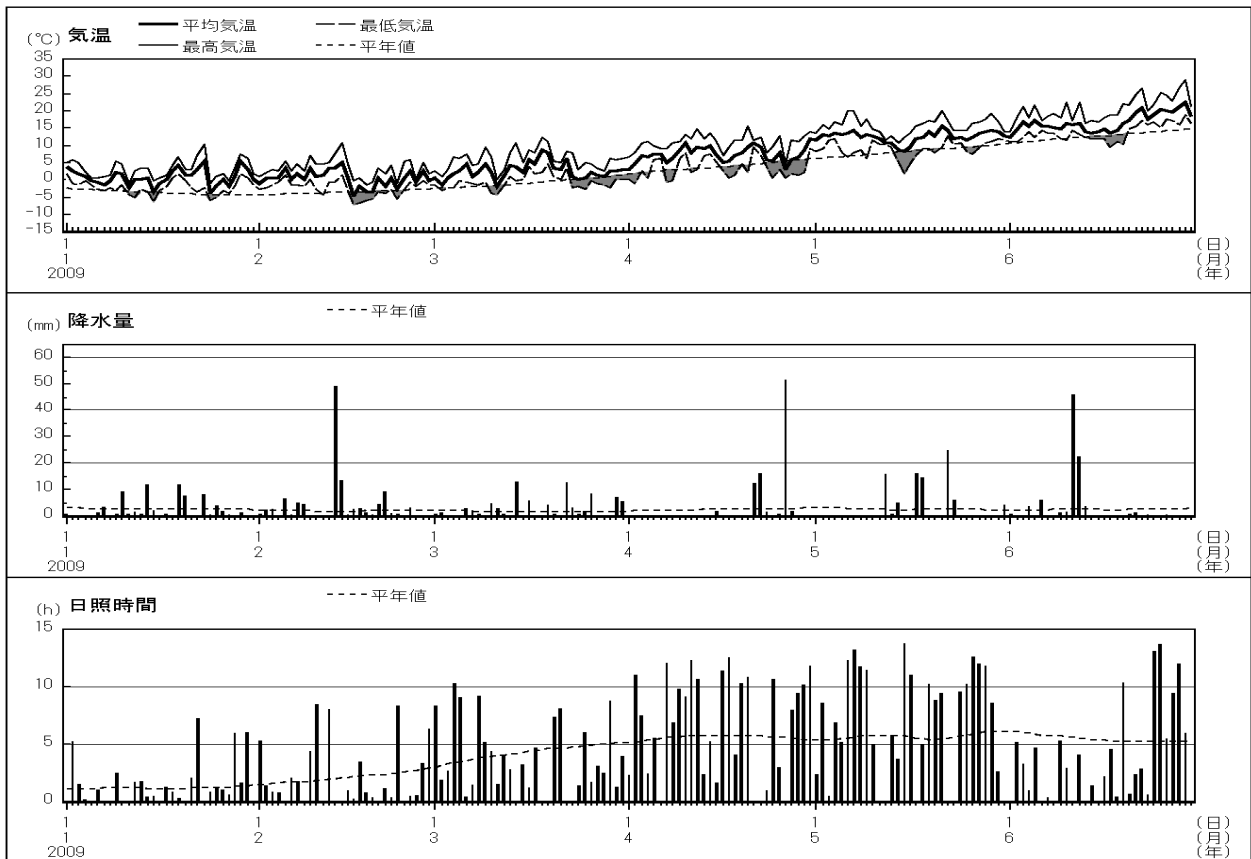
◎ 気象経過図（1月～6月）

地上気象：2009年1月1日-2009年6月30日

函館



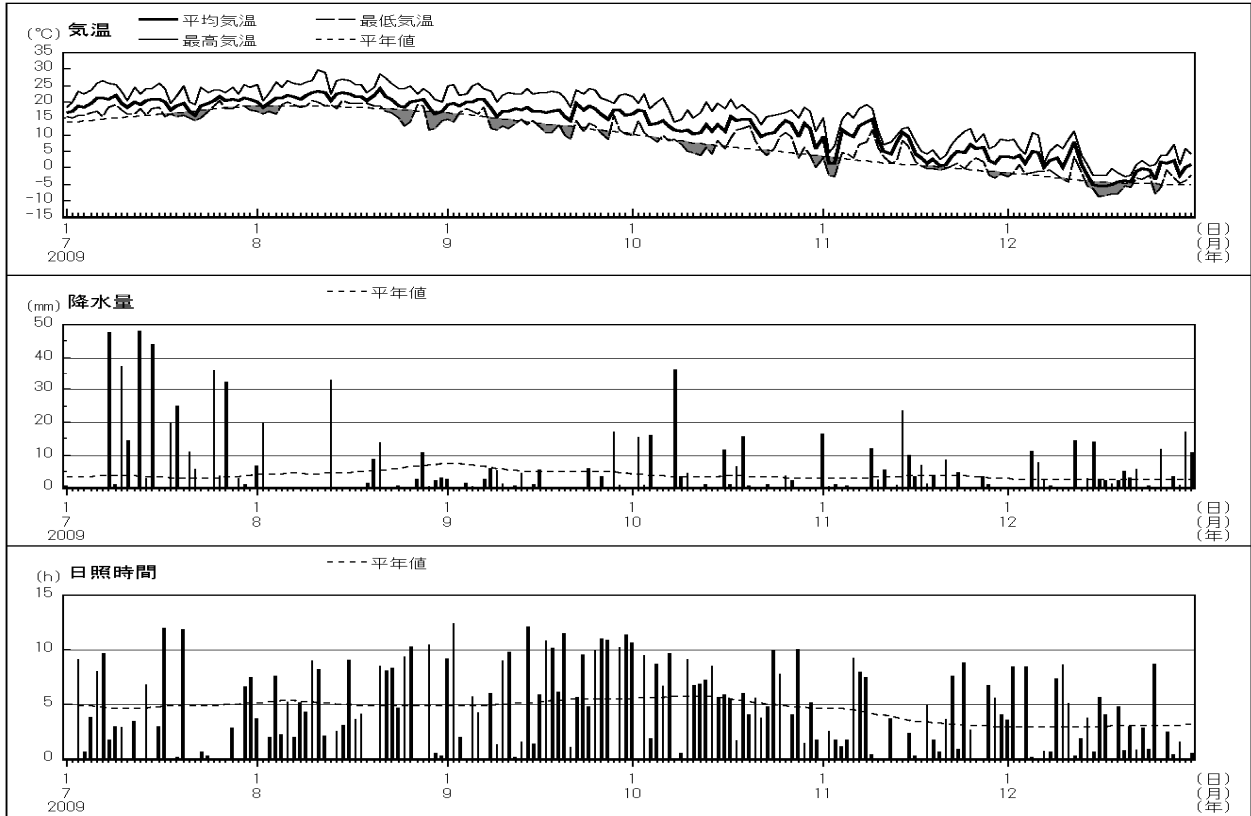
江差



◎ 気象経過図（7月～12月）

地上気象：2009年7月1日-2009年12月31日

函館



江差

